



2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月13日

上場会社名 片倉工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3001 URL <https://www.katakura.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上甲 亮祐
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 森 英明 (TEL) 03(6832)0229
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 (新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止)
 (百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	22,697	△6.2	2,651	28.8	3,068	20.4	1,008	△27.6
2019年12月期第2四半期	24,205	△0.4	2,058	62.2	2,548	42.4	1,392	46.5

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 △1,280百万円(-%) 2019年12月期第2四半期 1,714百万円(△12.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	28.84	—
2019年12月期第2四半期	39.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	134,061	82,430	43.0
2019年12月期	140,993	84,601	42.5

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 57,650百万円 2019年12月期 59,945百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	—	—	14.00	14.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年12月期期末配当金の内訳 普通配当 12円00銭 記念配当 2円00銭

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,600	△12.4	2,500	△2.7	3,250	△5.2	1,600	△7.7	45.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年12月期 2 Q	35,215,000株	2019年12月期	35,215,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期 2 Q	470,104株	2019年12月期	157,124株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年12月期 2 Q	34,959,536株	2019年12月期 2 Q	35,056,591株

(注) 当社は、業績連動型株式報酬制度「株式給付信託 (BBT)」を導入しており、株主資本に自己株式として計上されている「株式給付信託 (BBT)」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、四半期決算短信「添付資料」P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大を背景に厳しい経済環境へと急速に転じ、未だ収束の兆しが見えず先行きが一層不透明な状況となっております。

このような環境の中、当社グループは、新型コロナウイルス感染症が事業環境にもたらす変化を見極めながら、構造改革後の取組みを進め、中長期的な企業価値の向上を目指しております。

不動産事業については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、行政からの要請等を踏まえ、感染拡大防止の観点から商業施設の臨時休業や営業短縮を実施しました。営業再開にあたっては、お客様および施設従業員等の安全を最優先し、感染防止と安全・安心のための対策を実施しました。また、社有地開発や既存商業施設の再構築・鮮度維持・魅力向上等に経営資源を振り向け、更なる成長を図ってまいりました。

医薬品事業では、ジェネリック製品のラインナップ拡充、販売・生産・研究にかかるコスト構造の更なる見直しにより収益基盤の確立に努め、機械関連事業の消防自動車関連では、採算性を重視した営業体制の構築や生産性の向上に継続して取り組んでまいりました。

また、繊維事業の実用衣料では、当社衣料品事業部門の大幅縮小と、一部事業の連結子会社への譲渡を進めるとともに、付加価値の高い介護商品拡充により収益力の強化を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、医薬品事業で増収となったものの、機械関連事業において消防自動車関連で減収となったこと、不動産事業において新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によりショッピングセンターで臨時休業や営業時間短縮を行ったこと、繊維事業において当社衣料品事業部門を縮小したこと等により、226億97百万円（前年同四半期比6.2%減）となりました。

営業利益は、不動産事業で減収により減益となったものの、医薬品事業で増収により増益となったこと、当社管理部門の労務費が減少したこと等により26億51百万円（前年同四半期比28.8%増）、経常利益は30億68百万円（前年同四半期比20.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は当社における希望退職者への割増退職金により10億8百万円（前年同四半期比27.6%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 不動産事業

不動産事業は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によりショッピングセンターで臨時休業や営業時間を短縮したこと等により減収となりました。

この結果、売上高は45億96百万円（前年同四半期比14.1%減）、営業利益は17億94百万円（前年同四半期比15.3%減）となりました。

② 医薬品事業

医薬品事業は、2020年4月の薬価改定の影響はあったものの、経皮吸収型・β1遮断剤「ビソノテープ」等の販売増および2020年6月から高脂血症治療剤「エゼチミブ」の発売開始により増収となりました。この結果、医薬品事業の売上高は78億99百万円（前年同四半期比10.5%増）となりました。営業利益は増収に加え医療機関向け研究会の開催中止等に伴う販売費の減少により9億53百万円（前年同四半期比103.7%増）となりました。

③ 機械関連事業

機械関連事業は、消防自動車関連で、前期にODA向け車両及び電力会社向け車両の受注があった反動により減収となりました。この結果、機械関連事業の売上高は61億68百万円（前年同四半期比12.0%減）となりました。営業利益は消防自動車関連の原価低減の取り組みが奏功し2億80百万円（前年同四半期比24.9%増）となりました。

④ 繊維事業

耐熱性繊維等の機能性繊維が堅調だったものの、実用衣料分野を縮小したこと、実用衣料の肌着が低迷したことにより減収となりました。

この結果、繊維事業の売上高は31億55百万円（前年同四半期比15.6%減）、営業利益は労務費、販売費等の減少により1億73百万円（前年同四半期比120.6%増）となりました。

⑤ その他

その他の区分は、ビル管理サービス、訪花昆虫の販売等により構成されております。

ビル管理サービスが好調に推移したものの、前期8月に介護福祉機器事業、当期1・2月にはなびらたけ・高機能野菜の生産・販売事業から撤退した影響により、その他の売上高は8億77百万円（前年同四半期比8.4%減）、営業利益は不採算事業からの撤退により68百万円（前年同四半期は10百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は1,340億61百万円（前連結会計年度末比69億32百万円減、同比4.9%減）となりました。

これは、仕掛品、投資有価証券が減少したことが主因であります。

(資産の部)

流動資産は、494億70百万円（前連結会計年度末比30億78百万円減、同比5.9%減）となりました。増減の主要な項目は、現金及び預金、仕掛品であり、それぞれ6億6百万円、20億28百万円減少しました。

固定資産は、845億91百万円（前連結会計年度末比38億53百万円減、同比4.4%減）となりました。増減の主要な項目は、建物及び構築物、投資有価証券、退職給付に係る資産であり、退職給付に係る資産が6億81百万円増加し、建物及び構築物、投資有価証券が、それぞれ7億95百万円、38億52百万円減少しました。

(負債の部)

流動負債は、172億38百万円（前連結会計年度末比22億47百万円減、同比11.5%減）となりました。増減の主要な項目は、支払手形及び買掛金であり、18億24百万円減少しました。

固定負債は、343億93百万円（前連結会計年度末比25億13百万円減、同比6.8%減）となりました。増減の主要な項目は、長期借入金、繰延税金負債であり、それぞれ7億62百万円、14億76百万円減少しました。

(純資産の部)

純資産は、824億30百万円（前連結会計年度末比21億70百万円減、同比2.6%減）となりました。また、自己資本比率は43.0%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの「現金及び現金同等物」（以下、「資金」という。）は、54億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億11百万円の増加（前連結会計年度末比54.6%増）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、22億45百万円（前年同四半期比27.7%減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益（17億94百万円）、非資金項目である減価償却費（14億77百万円）を計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、16億68百万円（前年同四半期は16億52百万円の支出）となりました。これは主に、定期預金の減少（25億18百万円）によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、20億2百万円（前年同四半期は40億89百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出（7億62百万円）、自己株式の取得による支出（3億42百万円）、配当金の支払額（4億91百万円）によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、2020年3月25日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2020年8月13日）公表の「第2四半期業績予想数値と実績値との差異及び通期業績予想数値の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,825	27,219
受取手形及び売掛金	9,901	10,350
リース投資資産	5,051	5,009
商品及び製品	2,886	2,495
仕掛品	3,027	998
原材料及び貯蔵品	2,263	2,193
その他	1,601	1,216
貸倒引当金	△7	△12
流動資産合計	52,549	49,470
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	29,515	28,719
土地	16,458	16,458
その他（純額）	2,006	2,042
有形固定資産合計	47,979	47,219
無形固定資産	512	533
投資その他の資産		
投資有価証券	37,017	33,164
退職給付に係る資産	2,211	2,893
その他	756	812
貸倒引当金	△32	△32
投資その他の資産合計	39,952	36,838
固定資産合計	88,444	84,591
資産合計	140,993	134,061

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,634	3,810
短期借入金	3,572	3,419
1年内返済予定の長期借入金	1,525	1,525
未払法人税等	700	599
賞与引当金	322	295
役員賞与引当金	16	0
その他	7,712	7,588
流動負債合計	19,485	17,238
固定負債		
長期借入金	9,672	8,909
長期末払金	1,656	1,556
繰延税金負債	10,591	9,114
役員株式給付引当金	39	45
土壤汚染処理損失引当金	45	41
退職給付に係る負債	2,573	2,538
長期預り敷金保証金	8,989	8,916
資産除去債務	1,611	1,621
その他	1,727	1,648
固定負債合計	36,906	34,393
負債合計	56,392	51,631
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,817	1,817
資本剰余金	332	332
利益剰余金	40,310	40,826
自己株式	△210	△546
株主資本合計	42,249	42,429
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,289	14,852
繰延ヘッジ損益	7	5
退職給付に係る調整累計額	398	363
その他の包括利益累計額合計	17,696	15,221
非支配株主持分	24,655	24,779
純資産合計	84,601	82,430
負債純資産合計	140,993	134,061

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	24,205	22,697
売上原価	15,372	14,254
売上総利益	8,832	8,442
販売費及び一般管理費	6,774	5,791
営業利益	2,058	2,651
営業外収益		
受取利息	3	1
受取配当金	436	460
その他	153	175
営業外収益合計	592	637
営業外費用		
支払利息	72	54
投資有価証券評価損	0	31
その他	30	133
営業外費用合計	102	219
経常利益	2,548	3,068
特別利益		
固定資産売却益	2	—
投資有価証券売却益	253	—
特別利益合計	255	—
特別損失		
固定資産処分損	80	—
割増退職金	519	993
新型コロナウイルス感染症による損失	—	280
特別損失合計	599	1,273
税金等調整前四半期純利益	2,204	1,794
法人税、住民税及び事業税	533	688
法人税等調整額	39	△321
法人税等合計	572	366
四半期純利益	1,631	1,428
非支配株主に帰属する四半期純利益	238	420
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,392	1,008

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	1,631	1,428
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△2,674
繰延ヘッジ損益	△23	△2
退職給付に係る調整額	104	△32
その他の包括利益合計	83	△2,708
四半期包括利益	1,714	△1,280
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,056	△1,466
非支配株主に係る四半期包括利益	658	186

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,204	1,794
減価償却費	1,535	1,477
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	5
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11	△27
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10	△16
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	9	5
土壌汚染処理損失引当金の増減額 (△は減少)	△4	△4
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△6	△23
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△350	△739
受取利息及び受取配当金	△439	△462
支払利息	72	54
固定資産処分損	80	—
固定資産売却損益 (△は益)	△2	△0
投資有価証券売却損益 (△は益)	△253	△0
割増退職金	519	993
売上債権の増減額 (△は増加)	1,251	△449
リース投資資産の増減額 (△は増加)	24	42
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,397	2,488
未収消費税等の増減額 (△は増加)	207	185
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,104	△1,813
未払金の増減額 (△は減少)	△602	△984
未払費用の増減額 (△は減少)	443	810
預り金の増減額 (△は減少)	△623	298
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	△18	△78
長期前受収益の増減額 (△は減少)	△129	△70
その他	△430	112
小計	3,760	3,598
利息及び配当金の受取額	440	462
利息の支払額	△69	△50
収用補償金の受取額	43	—
割増退職金の支払額	△519	△993
法人税等の支払額	△549	△771
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,104	2,245

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△1,499	2,518
有形固定資産の取得による支出	△1,305	△578
有形固定資産の除却による支出	△127	△117
有形固定資産の売却による収入	2	2
無形固定資産の取得による支出	△31	△163
有価証券の売却による収入	1,000	—
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
投資有価証券の売却及び償還による収入	307	6
貸付金の回収による収入	5	2
その他	—	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,652	1,668
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,680	△153
長期借入金の返済による支出	△731	△762
自己株式の取得による支出	△0	△342
配当金の支払額	△421	△491
非支配株主への配当金の支払額	△74	△61
設備関係割賦債務の返済による支出	△91	△91
その他	△90	△97
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,089	△2,002
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,637	1,911
現金及び現金同等物の期首残高	7,091	3,503
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,454	5,414

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2020年3月27日開催の取締役会決議に基づき、自己株式318,000株の取得を行っております。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が336百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が546百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	不動産	医薬品	機械関連	繊維	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
売上高								
外部顧客への売上高	5,353	7,146	7,007	3,740	957	24,205	—	24,205
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14	—	0	3	120	138	△138	—
計	5,368	7,146	7,007	3,743	1,078	24,344	△138	24,205
セグメント利益又 は損失(△)	2,119	468	224	78	△10	2,880	△821	2,058

- (注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理サービス、訪花昆虫の販売、低カリウムレタス・はなびらたけの販売等のライフソリューション事業であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△821百万円には、セグメント間の取引消去△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△817百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	不動産	医薬品	機械関連	繊維	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
売上高								
外部顧客への売上高	4,596	7,899	6,168	3,155	877	22,697	—	22,697
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13	—	—	3	120	138	△138	—
計	4,610	7,899	6,168	3,158	998	22,835	△138	22,697
セグメント利益又 は損失(△)	1,794	953	280	173	68	3,270	△619	2,651

- (注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理サービス、訪花昆虫の販売等であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△619百万円には、セグメント間の取引消去△1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△617百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。